

第222回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和5年10月16日(月) 14:00~15:32
場所	本部棟5階 大会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 椎名理事, 藤波理事, 大谷理事, 金山副学長, 増永副学長, 松崎副学長, 河野副学長, 丸橋法文学部長, 河添教育学部長, 磯村人間科学部長, 石原医学部長, 伊藤総合理工学部長, 上野生物資源科学部長, 三原材料エネルギー学部長, 片岡評議員, 加藤評議員, 高橋評議員, 竹谷評議員, 山田評議員, 松本評議員, 三瓶評議員, 境評議員, 津本評議員, 半田評議員
オブザーバー	千家監事 〔陪席: 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長, 監査室長〕

議決事項1 第4期中期目標・中期計画に係る令和4年度実績の検証について

- 肥後理事から第4期中期目標・中期計画に係る令和4年度実績の検証について説明があった。
- 片岡評議員から中期計画における令和4年度の進捗管理に係る評価基準について質問があり, 肥後理事から関連する島根大学ビジョン2021の自己評価を元としているが, 達成時期や難易度等の個々に参酌すべきものもあり, 令和4年度に関しては明確な基準は設けていないとの回答があった。
続けて, 片岡評議員から後年度については客観的な評価基準を示すことが望ましいとの意見があり, 肥後理事から客観的で分かりやすい進捗の目安を検討したいとの回答があった。
学長から, 客観的な進捗の目安について各評議員からも提案頂きたいとの依頼があった。
- 椎名理事から中期目標・中期計画は文部科学大臣から認可されたものであり, 途中での変更は慎重に判断する必要がある。また, 定性的な評価よりも定量的な評価の方が客観性が担保されるため, 定量的に評価ができる目標の立て方が望ましいと意見があった。
- 山田評議員から評価が低い項目の改善方法について質問があり, 肥後理事から教職員に向けて第4期中期目標・中期計画を進めていく上で, その評価の観点から特に意識していただきたい項目についての説明を行いたいとの回答があった。
- 上野生物資源科学部長から現況調査票は学部単位で作成するのか, 学系単位で作成するのかとの質問があり, 肥後理事から教育に関しては学部及び研究科単位で, 研究については学系単位で作成するとの回答があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

議決事項2 大学院学資金返還免除候補者選考規程の一部改正について

- 肥後理事から大学院学資金返還免除候補者選考規程の一部改正について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議決事項3 リサーチプロフェッサー制度に関する規程の制定について

- 大谷理事からリサーチプロフェッサー制度に関する規程の制定について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

協議事項1 令和5年度全学FD研修計画(案)について

- 肥後理事から令和5年度全学FD研修計画(案)について説明があった。
- 増永副学長からFDの実施により教育の質を高める必要がある。そして, 教育の質を担保するためには何らかのプログラムや基準を設ける必要があるのではないかとの意見があっ

た。

- 磯村人間科学部長からこれまで実施したFDで効果を測れていないものがあり、アンケートを必須とするなど、FDの実施方法の検討が必要との意見があった。
- 丸橋法文学部長からコロナ禍によって教員同士による外部資金獲得のためのコミュニティが希薄になっていると感じているが、FDがコミュニティの回復の手段となるのではないかとの意見があった。
- 石原医学部長から教員のFDは国際認証にも関わるところであり効果について再評価しなければならない。医学科、看護学科とも今後どのようにFDを行うか考えなければならないとの意見があった。
- 松崎副学長から授業評価アンケートに記載された改善点について、即時的に対応できると学生からの評価も上がるのではないかとの意見があった。
- 肥後理事から大学の授業は大きな市場にさらされている状況にあり、ステークホルダーの支持を得るためにも内部から厳しい目で見ることが必要がある。学生からの評価という点では、一方通行の授業よりも教員と学生が相互に関わり知識や理解を深める授業が高く評価されている。授業評価アンケートそのものに対する意見は様々あるが、一定の確度で授業を評価する指標になる得るものと考えている。教員による授業の工夫や改善の効果をどう評価するかについては様々な評価軸を検討したい。各学部においてもそれぞれの強みや弱みを把握したうえで来年度のFD計画につなげていただきたいとの発言があった。
- 上野生物資源科学部長から何をもって良い授業と判断するのかとの質問があり、肥後理事から良い授業の基準を定めるのは難しいが、あるべき授業の姿について議論を積み重ねていただきたいとの回答があった。

報告事項1. 東北大学金属材料研究所「学際領域展開ハブ形成プログラム」への法文学部山陰研究センターの参画について

- 丸橋法文学部長から東北大学金属材料研究所「学際領域展開ハブ形成プログラム」への法文学部山陰研究センターの参画について報告があった。
- 山田評議員から島根大学が行う研究の内容について質問があり、丸橋法文学部長から山陰研究センターが関与し考古学を主として、青銅器等の金属技術の研究と連動することを計画しているとの回答があった。

報告事項2. 令和4年度外部資金等に係る間接経費等の執行実績について

- 藤波理事から令和4年度外部資金等に係る間接経費等の執行実績について報告があった。
- 増永副学長から今後の水道光熱費の上昇について質問があり、藤波理事から昨年度からの高止まりの状況であり、当初予算において確保しているが、引き続き節電等に努めていただきたいとの回答があった。

報告事項3. 寄附講座「総合医療学講座」の更新について

- 肥後理事から寄附講座「総合医療学講座」の更新について報告があった。

報告事項4. 令和6年度特別選抜におけるリスク管理対応について

- 肥後理事から令和6年度特別選抜におけるリスク管理対応について報告があった。

報告事項5. 令和5年度コンプライアンス・プログラム（講習）実施・受講状況（R5.9.30現在）について

- 藤田理事から令和5年度コンプライアンス・プログラム（講習）実施・受講状況（R5.9.30現在）について報告があった。

報告事項6. 国際交流協定（部局間）の更新について

- 書面をもって報告に代えた。

報告事項7. 教員の採用等について

- 書面をもって報告に代えた。